



令和4年上半年の東京税関における知的財産侵害物品の差止状況 ～ 上半期の差止点数は6年連続で10万点超え～

1. 差止点数が11万点超え

- 輸入差止点数は114,376点（前年比105.4%）で、6年連続で10万点を超え、2年ぶりに11万点超えとなり、輸入差止件数は2,151件（前年比96.8%）となりました。

2. 電気製品の差止点数が4年連続で最多

- イヤホンなどの電気製品の差止点数は26,697点（構成比23.3%、前年比131.8%）で4年連続最多となり、差止件数も73件（構成比2.4%、前年比169.8%）と増加しています。

3. 中国来の差止めが依然として高い水準

- 中国来の差止点数は48,591点（構成比42.5%、前年比67.0%）、差止件数は1,148件（構成比53.4%、前年比78.7%）となり、点数・件数ともに平成19年（2007年）以降、最大の仕出国となっています。

4. 輸出で13万点の差止め

- 輸出差止点数は130,110点、輸出差止件数は2件となりました。

5. 健康や安全を脅かす危険性のある知的財産侵害物品が引き続き散見

- 健康や安全を脅かす危険性のある電気製品、自動車部品等の差止めが散見されました。

【お問い合わせ先】
東京税関 税關広報広聴室
TEL 03-3599-6264
FAX 03-3599-6442

令和4年における知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

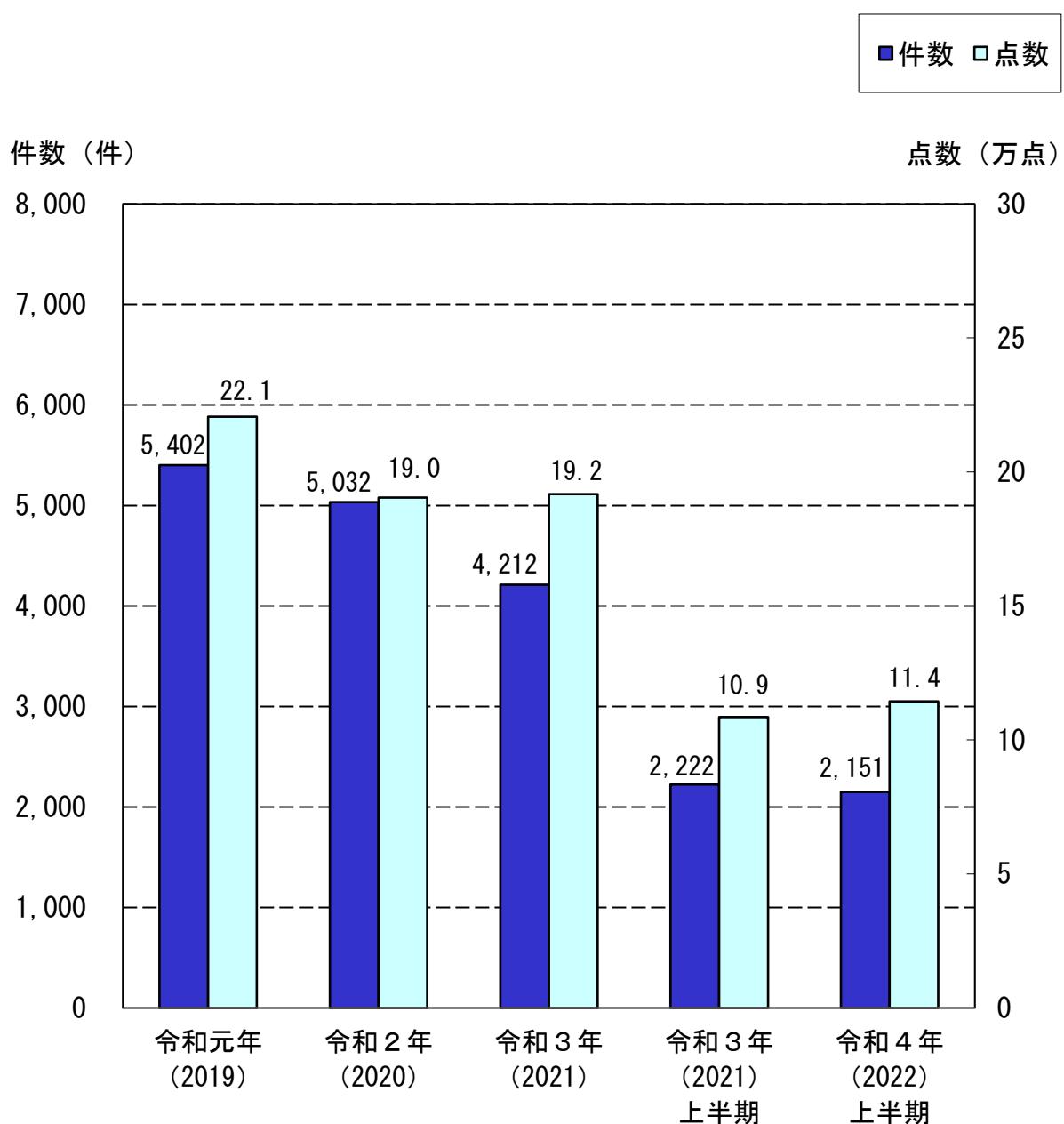
「差止件数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の輸入申告及び郵便物の数です。

「差止点数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の数です。

例えば、1つの輸入申告において、20点の知的財産侵害物品が含まれていた場合は、1件20点として計上しています。

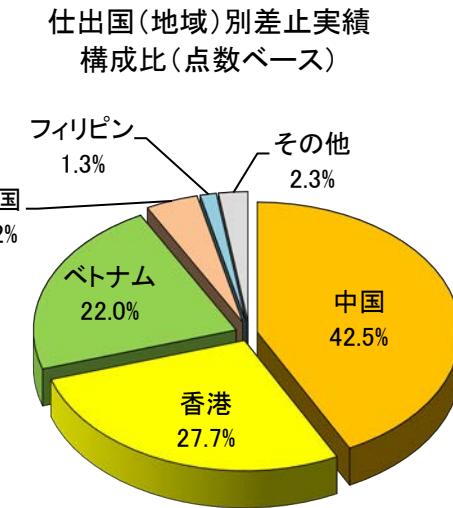
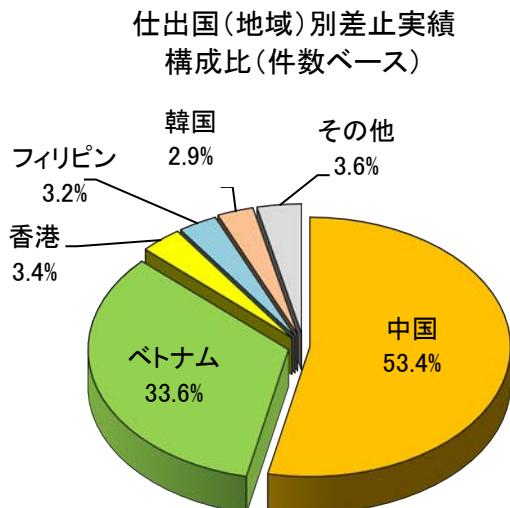
知的財産侵害物品の輸入差止実績

令和元年～令和4年（2019年～2022年）上半期



○仕出国（地域）別輸入差止実績

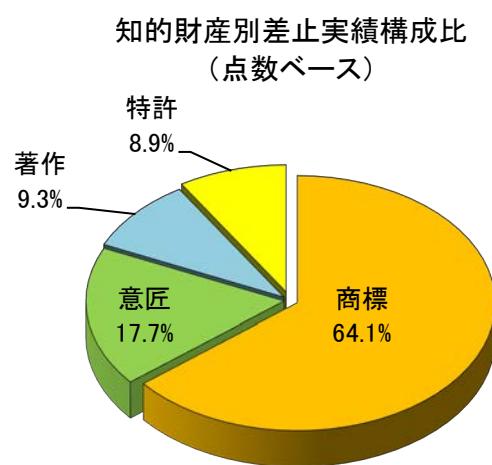
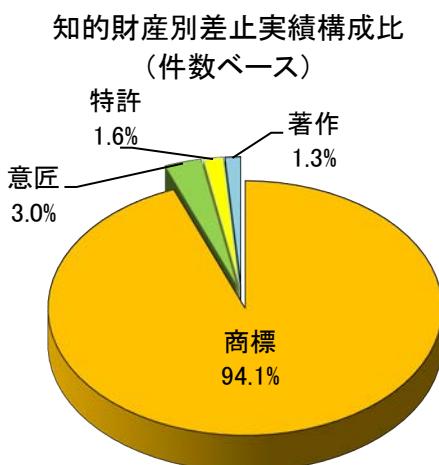
- 輸入差止件数は、中国来が 1,148 件（構成比 53.4%、前年比 78.7%）、次いでベトナム来が 722 件（構成比 33.6%、前年比 250.7%）、香港来が 73 件（構成比 3.4%、前年比 110.6%）となりました。
- 輸入差止点数は、中国来が 48,591 点（構成比 42.5%、前年比 67.0%）、次いで香港来が 31,639 点（構成比 27.7%、前年比 398.2%）、ベトナム来が 25,214 点（構成比 22.0%、前年比 165.0%）となりました。



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

○知的財産別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、偽ブランドバッグ等の商標権侵害物品が 2,043 件（構成比 94.1%、前年比 96.1%）で大半を占めています。次いでデザインを模倣した意匠権侵害物品が 65 件（構成比 3.0%、前年比 147.7%）、スマートフォンのグリップ・スタンドなどの特許権侵害物品が 35 件（構成比 1.6%、前年比 112.9%）となりました。
- 輸入差止点数は、商標権侵害物品が 73,330 点（構成比 64.1%、前年比 83.1%）、次いで意匠権侵害物品が 20,245 点（構成比 17.7%、前年比 281.9%）、著作権侵害物品が 10,674 点（構成比 9.3%、前年比 145.3%）となりました。

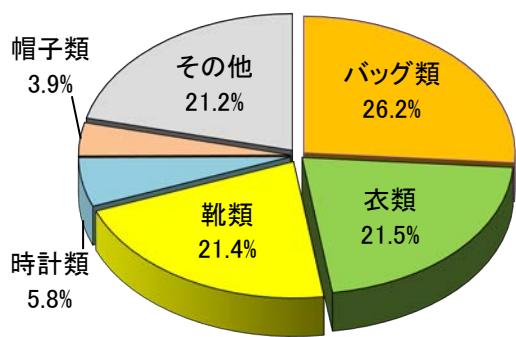


(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

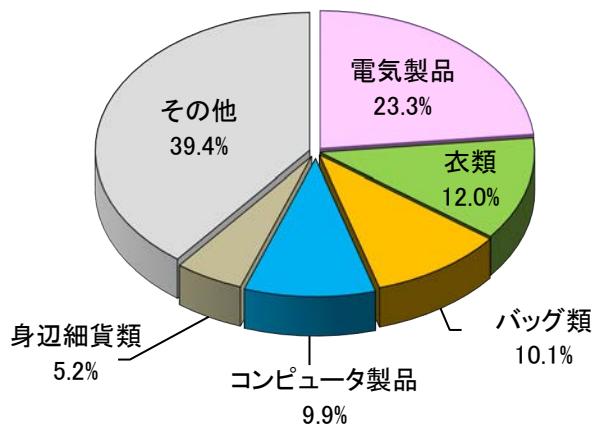
○品目別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、バッグ類が 794 件（構成比 26.2%、前年比 89.4%）、衣類が 654 件（構成比 21.5%、前年比 112.2%）、靴類が 649 件（構成比 21.4%、前年比 185.4%）となりました。
- 輸入差止点数は、電気製品が 26,697 点（構成比 23.3%、前年比 131.8%）、衣類が 13,774 点（構成比 12.0%、前年比 85.2%）、バッグ類が 11,558 点（構成比 10.1%、前年比 134.1%）となりました。

品目別差止実績
構成比(件数ベース)



品目別差止実績
構成比(点数ベース)

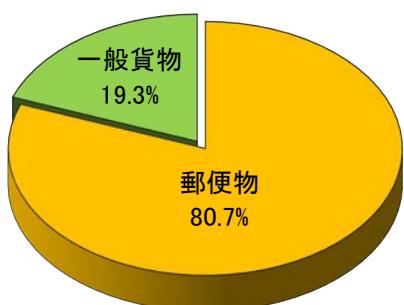


(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。

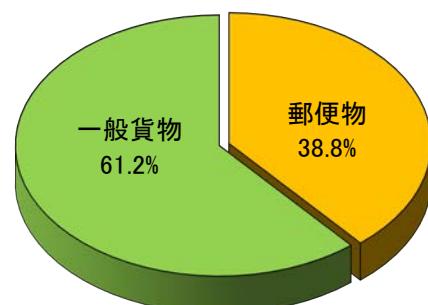
○輸送形態別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、郵便物が 1,735 件（構成比 80.7%、前年比 94.4%）、一般貨物が 416 件（構成比 19.3%、前年比 108.3%）となっており、郵便物が大半を占めています。
- 輸入差止点数は、郵便物が 44,412 点（構成比 38.8%、前年比 136.9%）、一般貨物が 69,964 点（構成比 61.2%、前年比 92.0%）となっており、点数は一般貨物の割合が多くなっています。

輸送形態別差止実績構成比
(件数ベース)



輸送形態別差止実績構成比
(点数ベース)



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。